

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧
113	1929	総ホモシステイン	検査項目名	血中総ホモシステイン	総ホモシステイン
			保 存 (安定性)	冷蔵(21日)	冷蔵
			検査方法	LC/MS/MS	HPLC
			基準値	M 7.0 ~ 17.8 F 5.3 ~ 15.2 (nmol/mL)	3.7~13.5 (nmol/mL)
			備考	採血後、速やかに血漿分離してください。	(なし)

※その他の検査要項に変更はございません。検査要項の詳細は裏面をご参照ください。

■変更期日

●2021年5月17日(月)受付日分より

血中総ホモシステイン

ホモシステイン尿症の診断補助や動脈硬化性疾患に対するリスク予測マーカーに有用な検査です。

ホモシステインは、メチオニン代謝の中間代謝物として生成されるアミノ酸であり、総ホモシステインとは、タンパク質と結合している結合型ホモシステインとホモシステイン及び他の低分子チオール化合物と結合しているタンパク非結合型ホモシステインの合計をいいます。

先天性アミノ酸代謝異常症の一種であるホモシステイン尿症の診断には、血中メチオニン値や血中総ホモシステイン値などの特殊検査があります。また、血漿中ホモシステイン濃度が著しく高値のホモシステイン尿症患者において動脈硬化、血栓症病変を発症することが報告されて以降に冠動脈疾患、脳血管疾患患者においても健常者と比較し軽度ホモシステイン血症の頻度が高くなることが言われています。

血中総ホモシステイン濃度を測定することは、ホモシステイン尿症の診断補助や動脈硬化性疾患に対するリスク予測マーカーとして有用です。

▼疾患との関連

ホモシステイン尿症
動脈硬化性疾患

▼関連する主な検査項目

アミノ酸分析(39種類)[LC/MS]
アミノ酸分析(41種類)

■検査要項

項目コード	1929
検査項目名	血中総ホモシステイン
検体量	血漿 0.3 mL
容器	PN2、PN5 → X(ポリスピッツ)
保存方法(安定性)	冷蔵保存してください (21日)
所要日数	4~7日
検査実施料	287点 (「D010」特殊分析「4-イ」アミノ酸(1種類につき))
判断料	144点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
検査方法	LC/MS/MS
基準値(単位)	M 7.0 ~ 17.8 (nmol/mL) F 5.3 ~ 15.2 (nmol/mL)
備考	採血後、速やかに血漿分離してください。
検査委託先	株式会社エスアールエル (→5)

■参考文献

Christian Hellmuth, et al: Journal of Chromatography B, 879: 83~89, 2011. (検査方法参考文献)
橋本 隆男, 他: YAKUGAKU ZASSHI 127(10): 1579~1592, 2007. (臨床的意義参考文献)